

第54回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会開催される

去る11月1日（木）富山県富山市の富山国際会議場において、「第54回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会」が全国から約800名の参加のもと開催されました。

大会の第一部では、綿貫勝介富山県支部長の開会に始まり、渡邊健二陸運労災防止協会会長の挨拶、厚生労働大臣ほかご来賓の祝辞（代読）に続き、表彰及び安全衛生標語入選作品顕彰、また、吉野雅山愛知県支部長が大会宣言（案）を読み上げ、採択して締めくくりました。

第二部の講演では、「労働安全衛生行政の動向」について、厚生労働省労働基準局の椎葉茂樹安全衛生部長の講演に続き、第三部では「トラック荷台からの転落防止の取組」と題し、トナミ運輸株式会社の森田友久人事部課長より事例発表がありました。

第四部の特別講演では、「黒部奥山における電源開発及び砂防工事の安全の取組」と題し、大高建設株式会社執行役員土木部長の川添将文氏の講演がありました。

講演では、黒部ダム工事はブルドーザー等を分解してトロッコで運び、現場で組み直して作業した。山岳地帯での砂防工事については、断崖絶壁の中を人が通れる幅の「道」を作っていく過程をビデオやプロジェクターで紹介し、大変貴重な講演を拝聴しました。

最後に、田中亨滋賀県支部長から、来年は滋賀県大津市で11月7日開催予定でたくさんの会員が集結し大会を盛り上げていただきたい。と閉会の辞をもって全国大会日程が終了しました。



大会の様子



渡邊会長挨拶



大会会場前で



大会宣言

陸運業は、我が国の経済活動と国民生活を支える物流の中核として重要な役割を担っている。陸運業がその役割を果たしていく上で、そこで働く人々の安全と健康を確保していくことは極めて重要な課題である。

陸運業界は、慢性的な人手不足、高齢化問題などの諸課題を抱え、依然として厳しい経営環境に置かれているが、我々は、人命尊重の理念の下に、労働災害の絶滅に向け積極的に取り組むとともに、健康で安心して働くことができる職場環境を実現し、企業並びに業界の発展に寄与するものとする。

このため、今年度を初年度とする、新たな「陸上貨物運送事業労働災害防止計画」の目標達成に向けて、次の取組を重点に、本部、支部、会員事業者が一体となってその推進を図ることをここに誓う。

- 一 安全衛生水準の向上に努めるとともに、その活動を支援する「レベルアップ支援事業」、「中小企業安全衛生水準向上個別サポート事業」を一層推進する
 - 一 荷役運搬作業における「荷役5大災害防止対策」の徹底を図るとともに、フォークリフト荷役技能検定を通じた荷役災害の防止に努める
 - 一 死亡災害の半数を占める交通労働災害防止対策の一層の推進を図る
 - 一 定期健康診断の完全実施と事後措置の徹底、メンタルヘルス対策等の周知を図る
- 以上、宣言する。

平成30年11月1日

第54回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会